Chiba City Museum of Science 千葉市科学館

千葉市科学館　冬の企画展

ふくしま星・月の風景写真展 in 千葉



今井多佳子 「蕎麦畑に白虹」



榎田和也 「向日葵と宇宙」



橋本優香 「月食と四季桜」



松浦かおり 「静寂を貫く」



堀越靖 「イルミネーションツリー」



河野善次 「満ちる月」

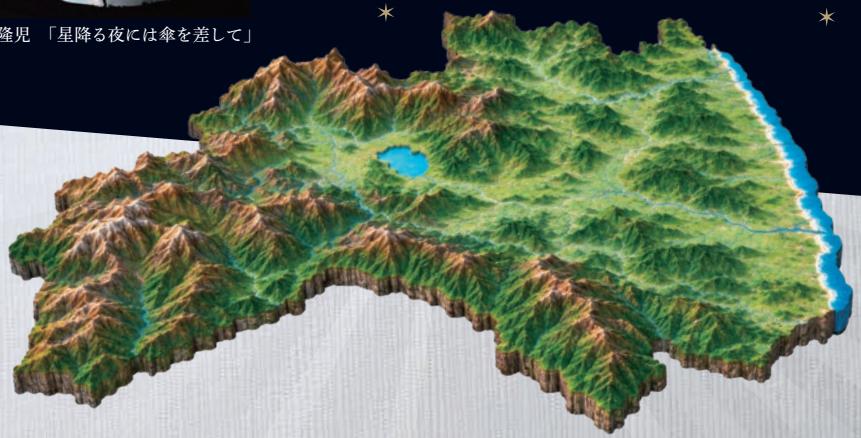


原田実 「夜明け前」



能川隆児 「星降る夜には傘を差して」

ふくしまには
「ほんとの空」がある



2026年 12月12日(土)〜
2027年 1月11日(月・祝)

10:00 〜 17:00

※会期中の休館日　12月14日(月)、12月29日(火) 〜1月1日(金)

【会 場】 千葉市科学館 7階 企画展示室

【料 金】 入場無料（要入館券）

※右表に記載のチケットでご覧いただけます。

主催 千葉市科学館

TICKET	常設展示	プラネタリウム	セット券
大人	600円	600円	1,000円
高校生	300円	300円	490円
小・中学生	100円	100円	160円
未就学児	無料（保護者同伴）		

以下の方はチケット購入時に確認できるものをご本人がご提示で無料
・千葉市内在住の65歳以上の方
・障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名まで
・「ふれあいパスポート」をお持ちの千葉市内在住・在学の小・中学生（土曜日のみ）

千葉市科学館　冬の企画展

ふくしま星と月の風景写真展 in 千葉

高村光太郎の「智恵子抄」で「ほんとの空がある」と言われた福島県には、美しい風景と星空が広がっています。
東日本大震災から15年、郡山市ふれあい科学館（福島県郡山市）「第7回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」受賞作品で、本当の空と美しい自然の風景をお楽しみください。

関連イベント

トークイベント「ふくしま星・月の風景を見上げて」

福島県内には美しい自然と星空が数多く残されています。改めて自然の美しさ、素晴らしさを再認識して欲しいと2008年に「ふくしま星・月のある風景フォトコンテスト」を立ち上げたところ多くの反響をいただき、現在は8回目の開催準備を進めています。これまでに実施してきた7回のフォトコンテストの概要や300点近くにおよぶ歴代受賞作品の中から厳選した写真を紹介するとともに、会場にて作品を見ながらギャラリートークを行います。

日　時 2026年12月20日（日）
①11:00～12:00　②15:30～16:30

会　場 7階 企画展示室
対　象 小学5年生以上（対象学年未満の方は入室できません）
定　員 各回30名（同伴不可）
料　金 無料（要入館券）
申込方法 事前申込

2次元コードからアクセスして必要事項をご入力ください。
＜申込期間＞ 11月9日（月）9:00～11月30日（月）23:59
※応募者多数の場合は抽選となります
　抽選結果は当選者のみ12月7日（月）までにメールでお知らせします
※当日残席がある場合は、開始15分前に会場前で参加されるご本人に整理券を配布します

①申込　②申込

講　師 安藤 享平（郡山市ふれあい科学館 天文担当学芸員）
略　歴 1977年愛知県生まれ。2001年愛知教育大学教育学部卒業、郡山市ふれあい科学館（当時は科学館準備室）に配属、天文担当学芸員としてプラネタリウムの解説をはじめとした天文事業を担当する。現在、日本プラネタリウム協議会日本のプラネタリウム史ワーキンググループ代表、日本天文教育普及研究会代議員（社会教育）。日本星景写真協会（ASPJ）正会員。五藤光学研究所編「プラネタリウムの疑問50　みんなが知りたいシリーズ⑳」（成山堂書店）共同執筆者の1人。



企画展関連講座「星・月と風景をとらえる～星景写真の撮影法～」

天体写真家として活躍されている及川氏は、星空と地上の風景を一枚の写真におさめる「星景写真」も数多く撮影しています。天体望遠鏡などの特別な機材を必要としない星景写真は、お気に入りの風景とともに星空をとらえる特別な一枚を撮影することができます。しかし、写真を撮影するには、いろいろ気をつける点があります。今回は、及川氏が自分で撮影した星景写真を交えながら、星景写真の魅力や撮影方法についてご紹介します。


凍てつく湖面に映える流星


逆さ富士と湖面に映える流星

日　時 2027年1月9日（土）
14:00～15:30

会　場 7階 企画展示室
対　象 小学5年生以上（対象学年未満の方は入室できません）
定　員 各回30名（同伴不可）
料　金 無料（要入館券）
申込方法 事前申込

2次元コードからアクセスして必要事項をご入力ください。
＜申込期間＞ 12月12日（土）9:00～12月22日（火）23:59
※応募者多数の場合は抽選となります
　抽選結果は当選者のみ12月28日（月）までにメールでお知らせします
※当日残席がある場合は、開始15分前に会場前で参加されるご本人に整理券を配布します

申込

講　師 及川 聖彦（天体写真家）
略　歴 小学校5年生の頃に星へ興味を持つようになる。天文現象の中で彗星と流星に特に興味があり、中学生の頃から観測や写真撮影を始める。1986年ハレー彗星の接近後、本格的に天体の写真撮影を開始し、現在に至る。月刊誌「天文ガイド」流星関連記事・星雲星団の動画撮影記事執筆者。著書に「星雲星団フォトアルバム」（地人書簡 2001年）、「流れ星」ミニフォトブック（誠文堂新光社 2015年）。その他、天文関係図鑑・本やメディアへの画像提供多数。



Chiba City Museum of Science 千葉市科学館
千葉市中央区中央4丁目5番1号
Qiball（きぼーる）内 7～10階
TEL 043-308-0511（代表）
https://www.kagakukanQ.com

アクセス
●電　車：JR「千葉駅」から徒歩15分／京成電鉄「千葉中央駅」から徒歩6分
●千葉都市モノレール：「葭川公園駅」から徒歩5分
●バ　ス：千葉駅東口7番乗り場より「中央三丁目」下車徒歩1分